

第2回交流小委員会（仮称）会議録

令和4年1月20日（木）13:00～15:00

交流事業における目的

- ・こむ1会登録グループの会員同士の交流。お互いの活動を知り合う事。
- ・こむ1会内部に限らず市民に広くボランティア活動について知ってもらう事。
- ・こむ1会の「より良い社会を私たちの手で」の精神に則って人と人を繋いでいく。

交流として活動するために

わたしたちは活動を円滑に行うため**交流小委員会**として活動をしていく。

- ・一つの事業を企画検討会とか実行委員会とかに分けることによる遅延をなくしたい
- ・3つの目的のために行う事業であるので一つ一つの項目に分ける必要を感じない
- ・本小委員会は公開、随時参加可能な小委員会として行う

毎回進捗状況を運営委員へ配信、およびこむ1会会員向けにコムワンネット掲載していく

今後の活動について

①訪問型ボランティアグループの座談会の開催

目的

- ・顔の見えるから始めたい
- ・お互いの情報交換（コロナ禍の中での活動）等集まって話すことによって問題、課題を見つける

座談会の資料

- ・こむ1会アンケート
- ・ボランティアセンターのアンケート

訪問型ボランティアとは

- ・小学校、福祉施設、老健施設などに出かけて行って活動を行うグループ（音楽のみならずセルフヘルプグループや子ども、自然関係のグループも活動の一部として訪問活動を行っていたグループは多いと考えられる）

実施に向けて

スケジュールなどを作成

対象グループのリスト作成

②コロナ禍の中でのこむ1 フェスティバルの形

目的（発表や展示）

- ・お互いの活動を知る
- ・広く市民に向けてボランティア活動を知ってもらう
- ・ボランティアの仲間を増やしたい

今現在、巷ではフェスティバルの様な事業をどの様に実施しているのかをこむ1会運営委員会で報告する